

排便対策のお悩み解決
～排便サポートチームならこうする！～

エコーを活用した 便秘のアセスメント方法

東葛クリニック病院
超音波検査士
山脇 衣織

本日の内容

- ① 経腹アプローチ走査法と
経臀裂アプローチ走査法について
- ② エコー画像の特徴的所見による
結果の活用方法

便秘評価に使用するプローブの種類と設定

【プローブ】

3.5MHzのコンベックスプローブ

【設定】

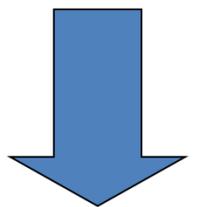
腹部エコーと同じ(各装置により異なる)

【注意点】

視野深度 経腹アプローチ走査法 15cm

経臀裂アプローチ走査法 8cm

感染対策 プローブ表面にゼリーを塗布後、ラップで包む



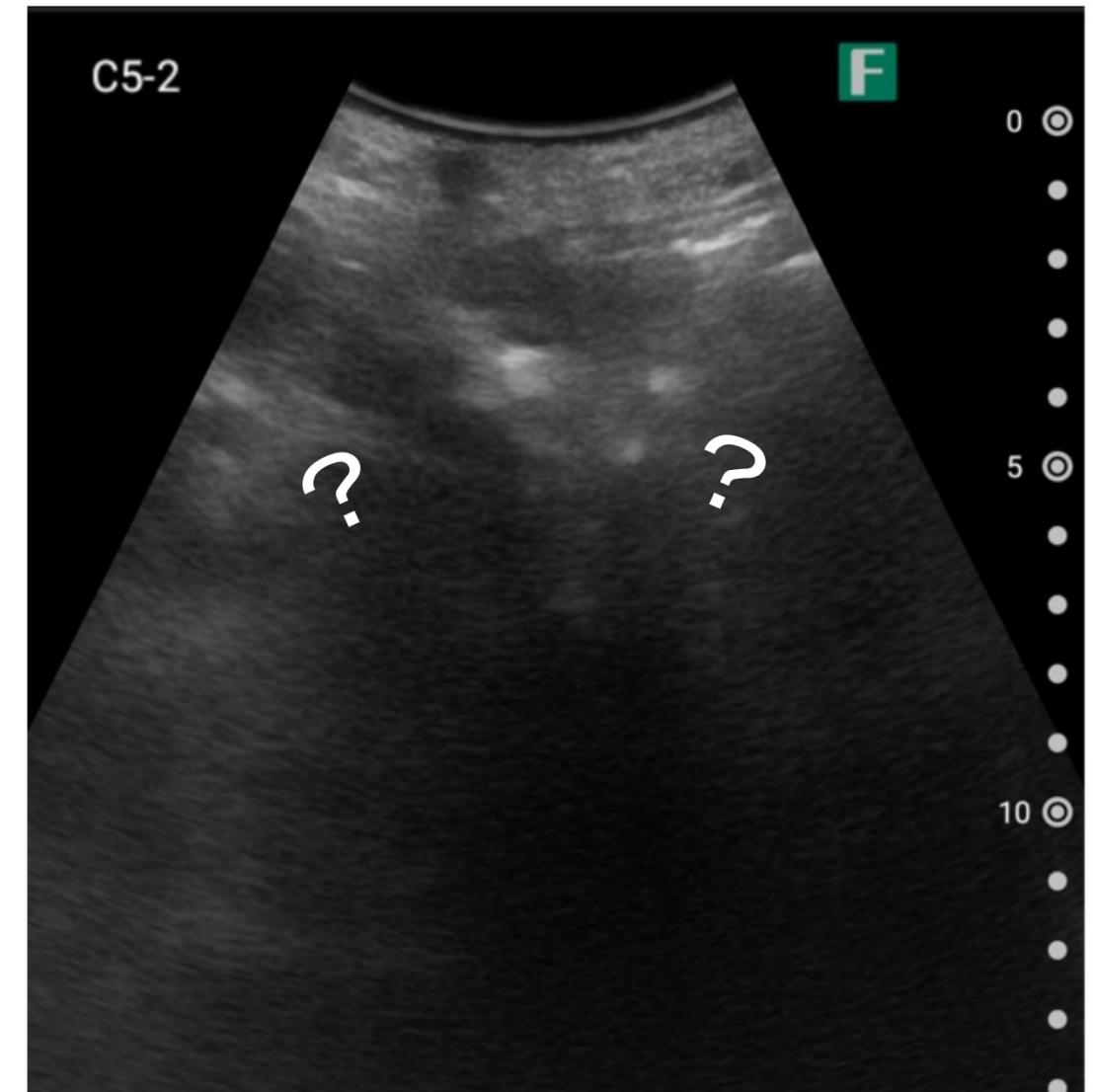
本日の内容

- ① 経腹アプローチ走査法と
経臀裂アプローチ走査法について
- ② エコー画像の特徴的所見による
結果の活用方法

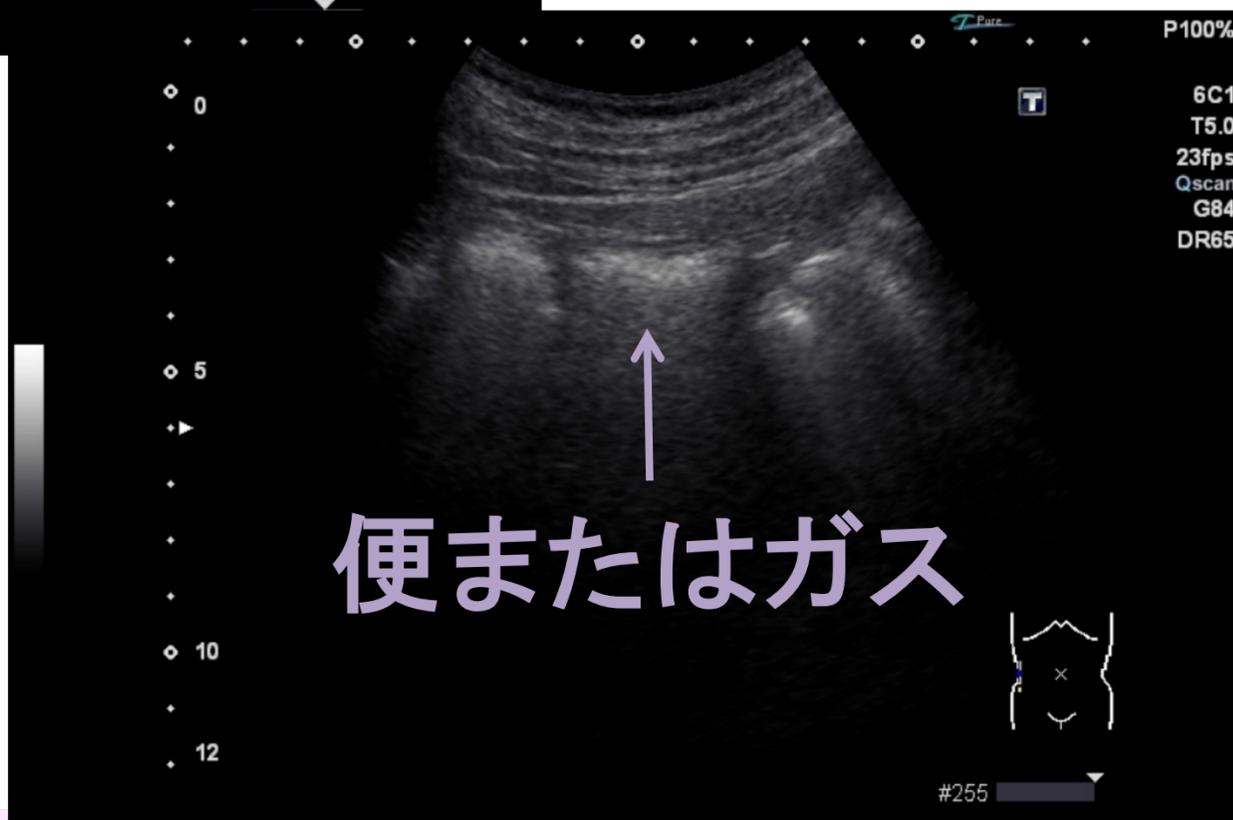
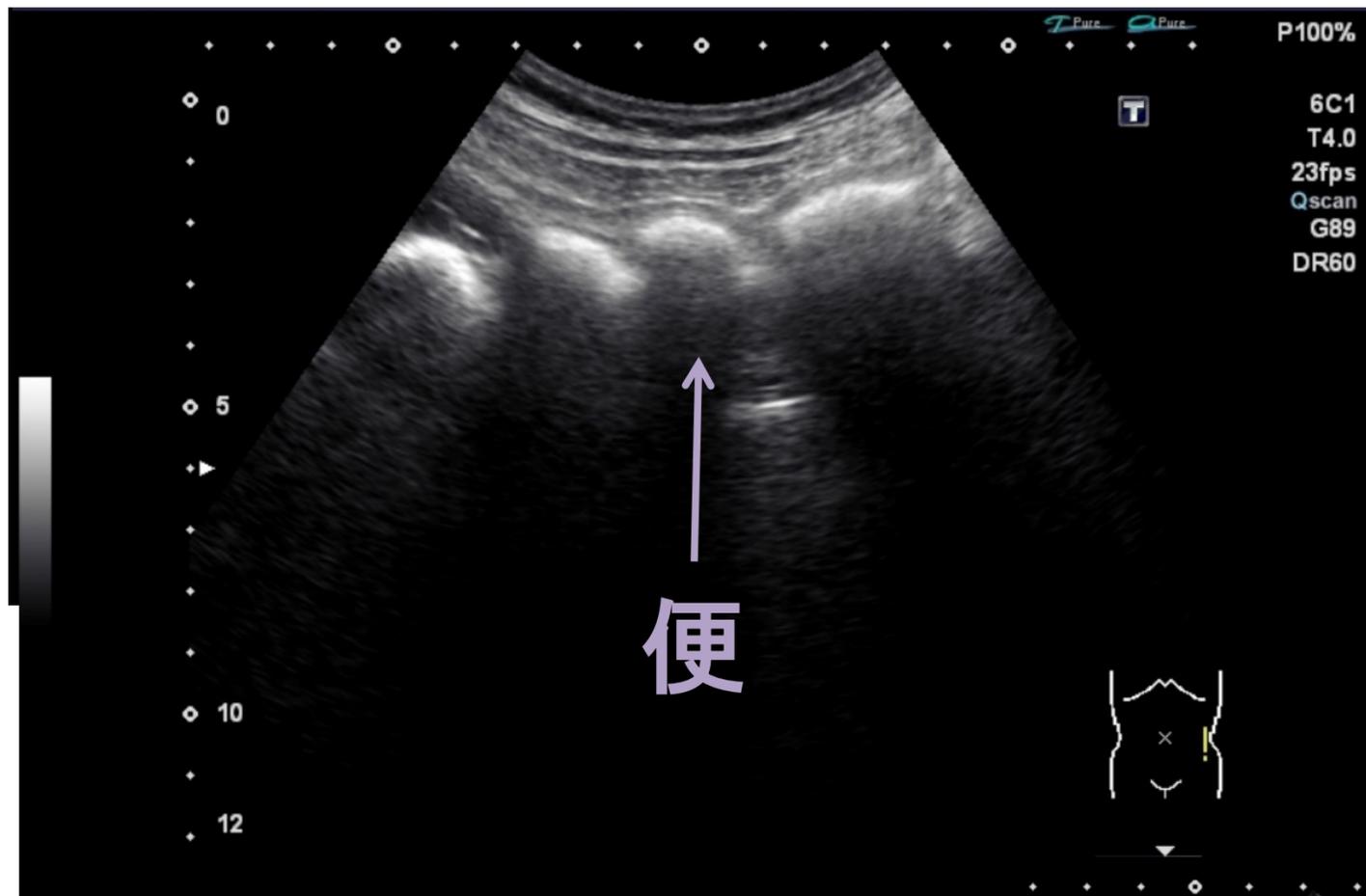
○経腹アプローチ走査法

膀胱内尿貯留あり

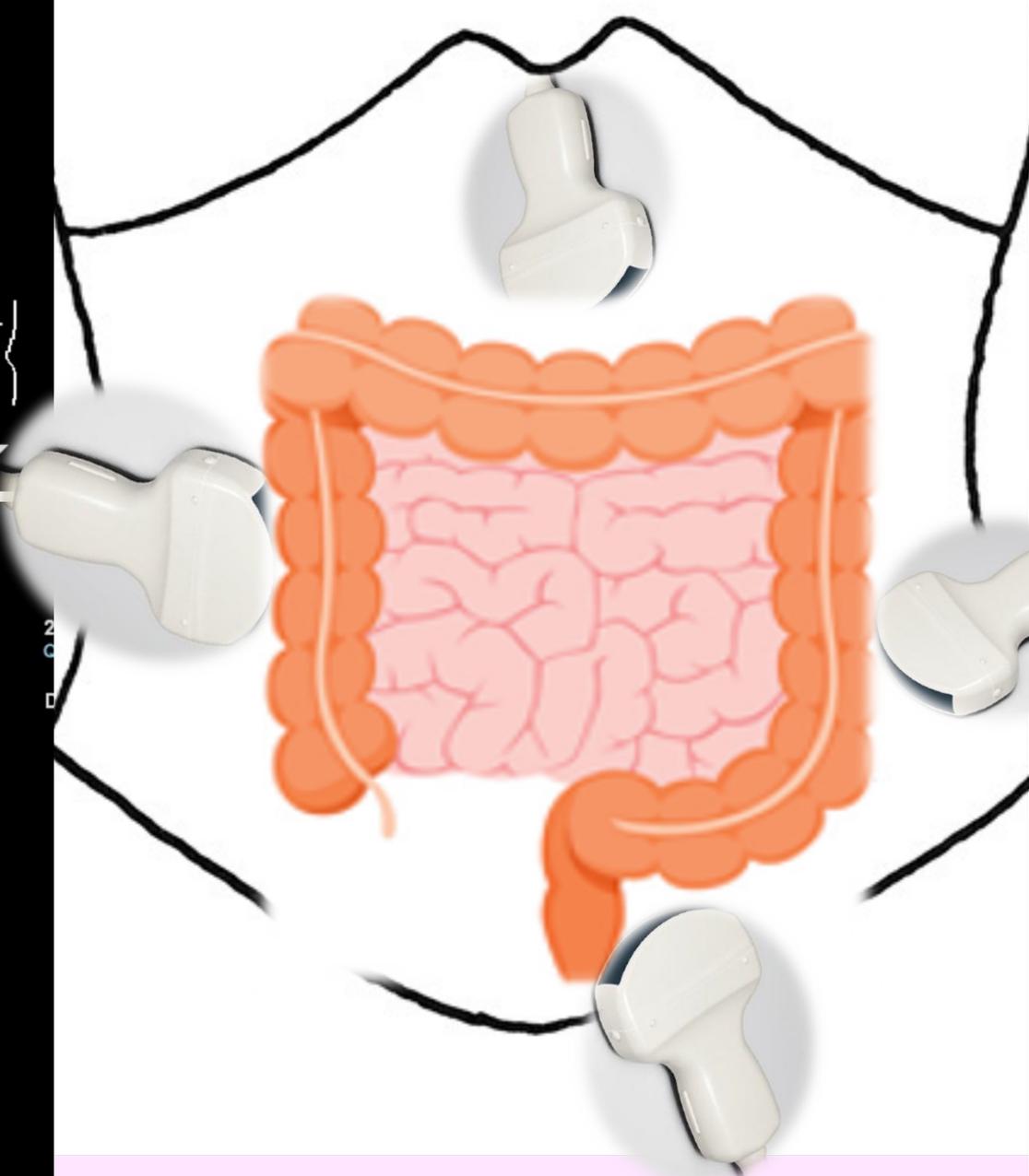
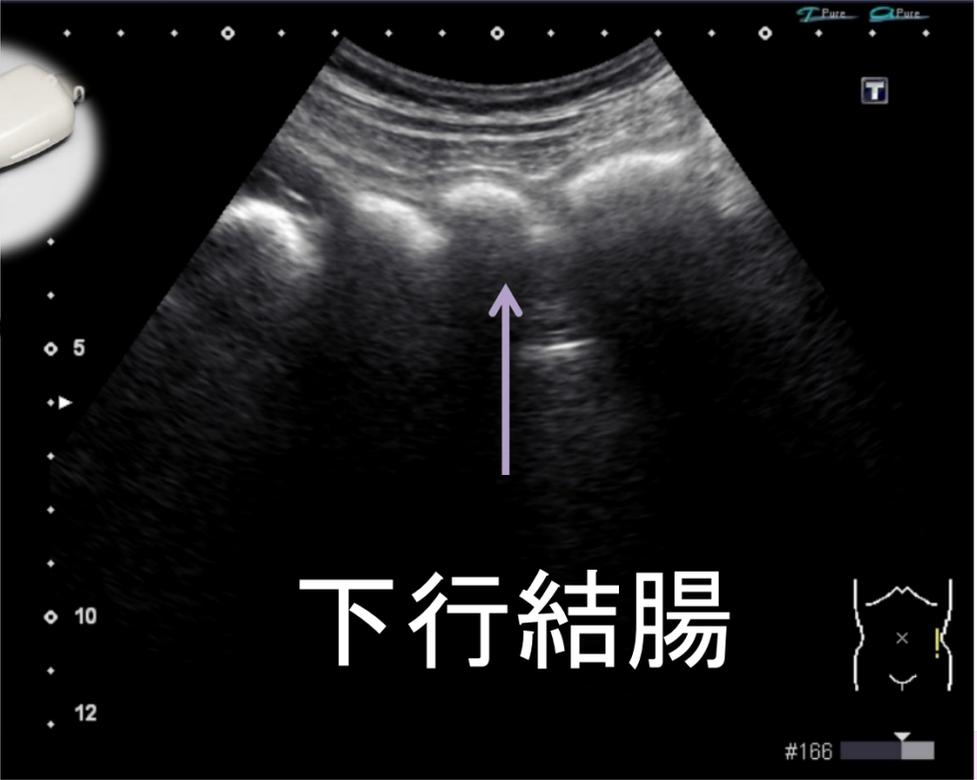
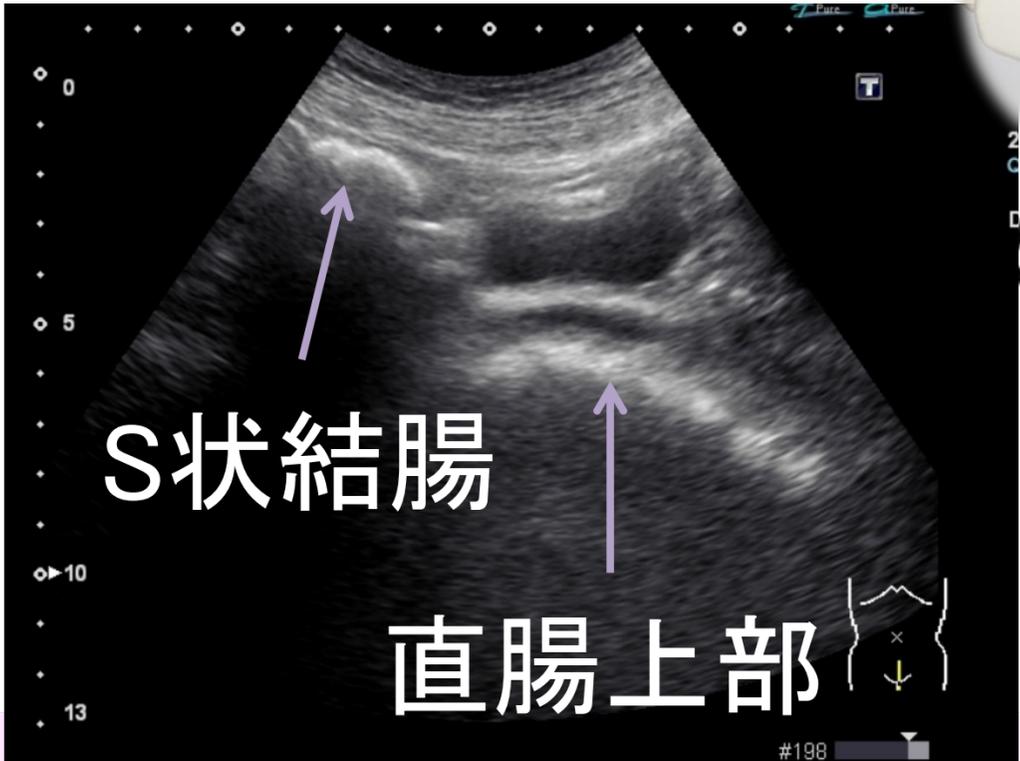
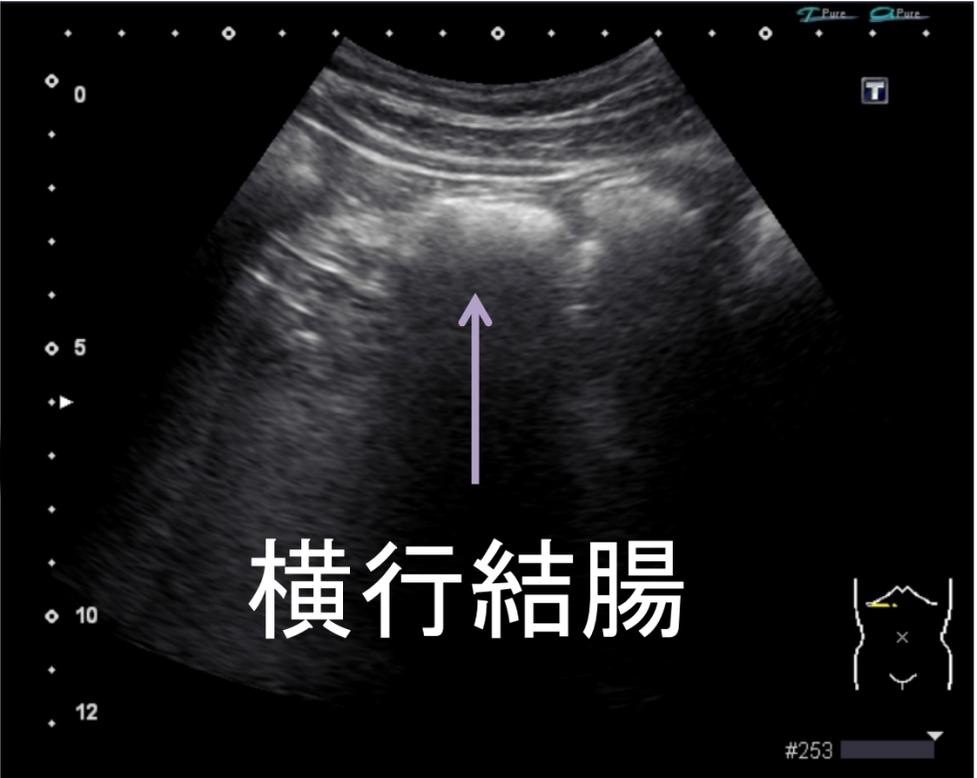
膀胱内尿貯留なし



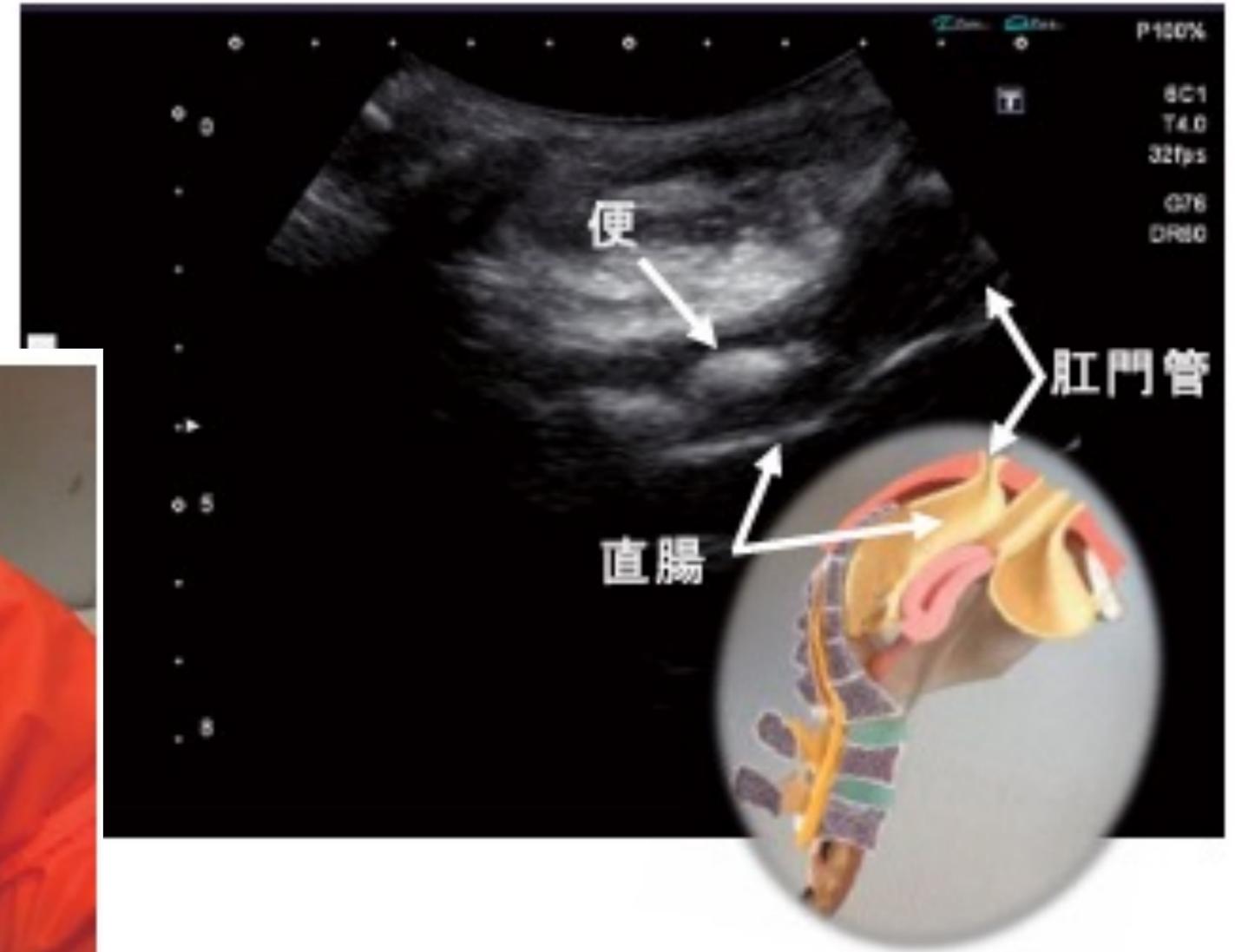
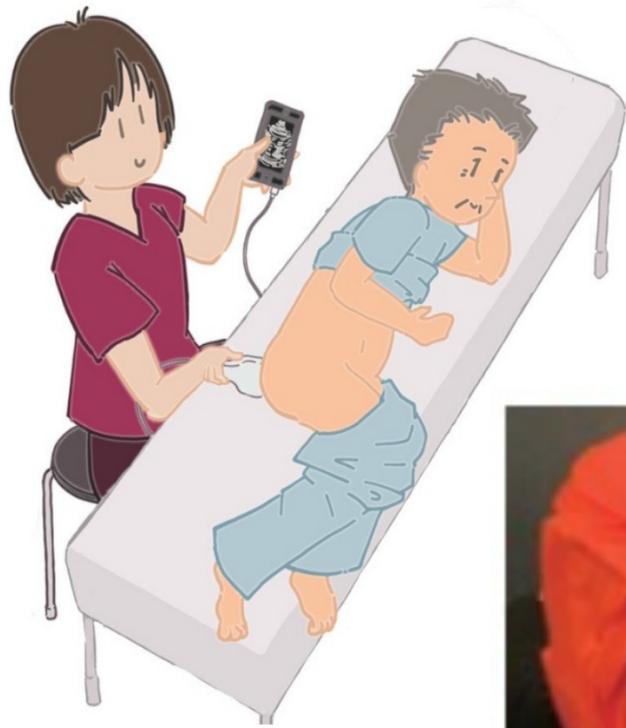
参考文献：便通異常症診療ガイドライン2023-慢性便秘症-
編集 日本消化管学会



経腹アプローチ走査法で貯留便の位置を確認する



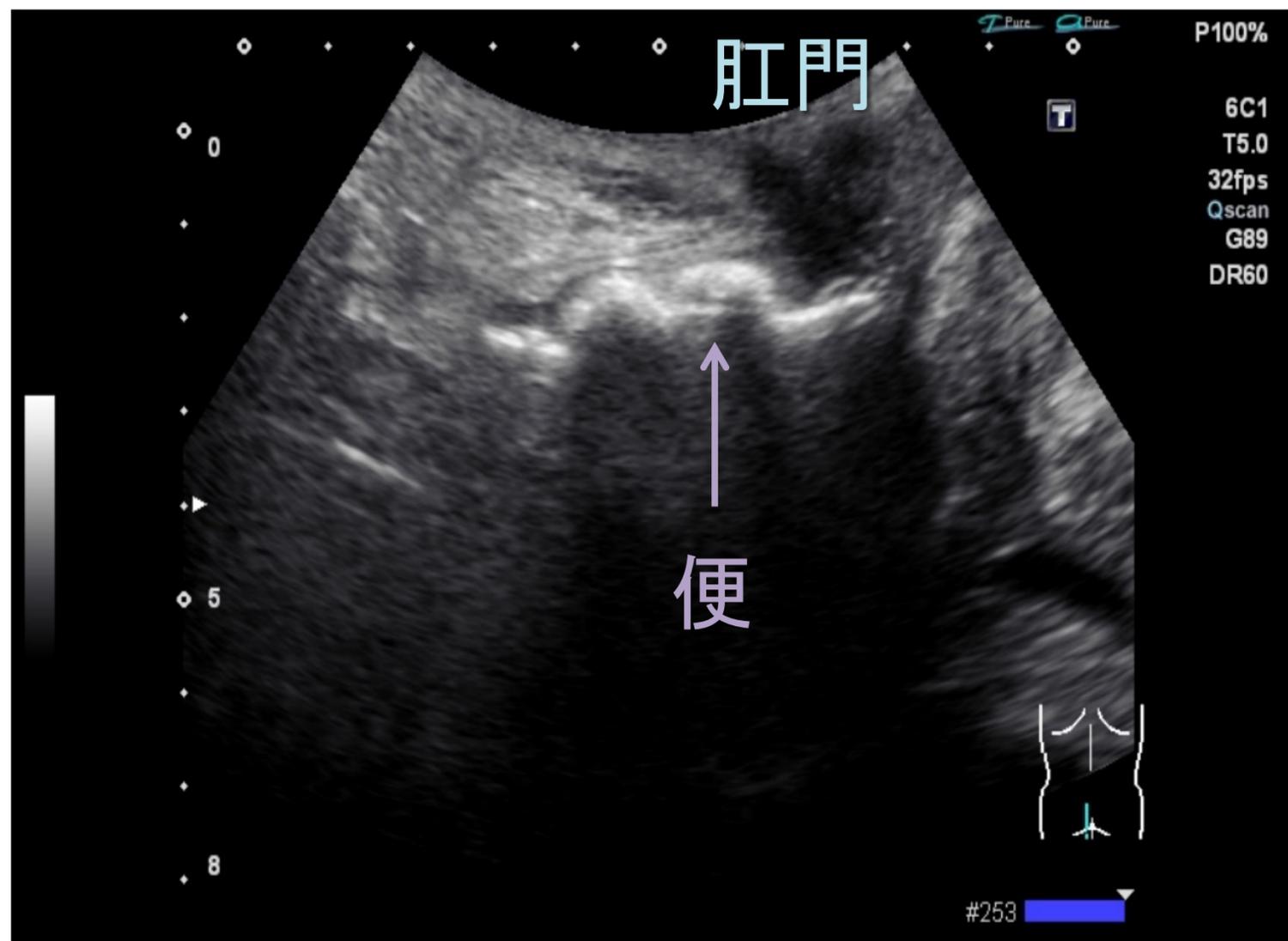
○経臀裂アプローチ走査法



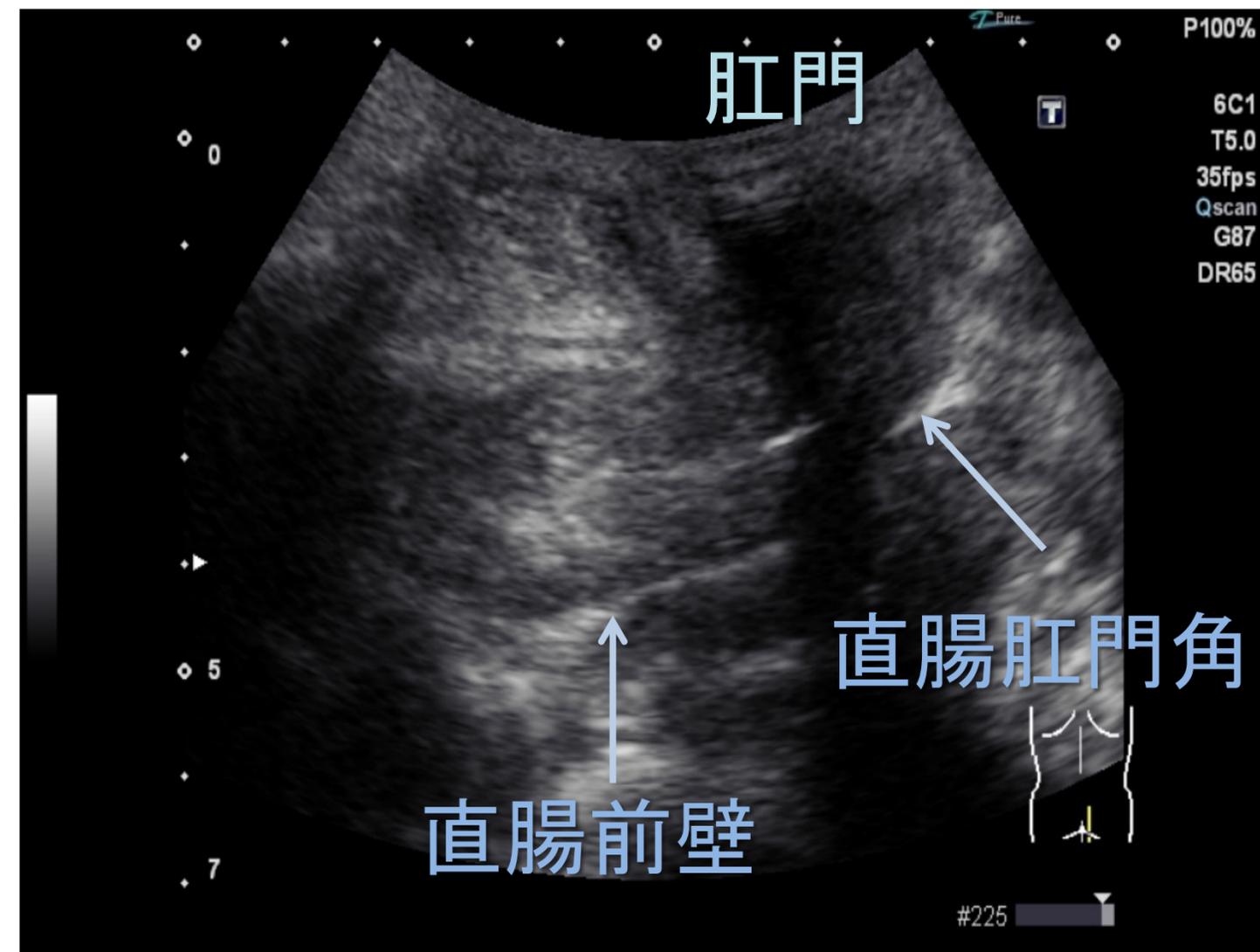
経臀裂アプローチ走査法による直腸・肛門管の長軸断面Bモードエコー像

引用元:超音波検査技術vol.45 No.2(2020) 超音波検査による便性状評価の検討
—経臀裂アプローチ走査法における下部直腸評価の有用性— 佐野由美

- 直腸下部(便貯留あり)



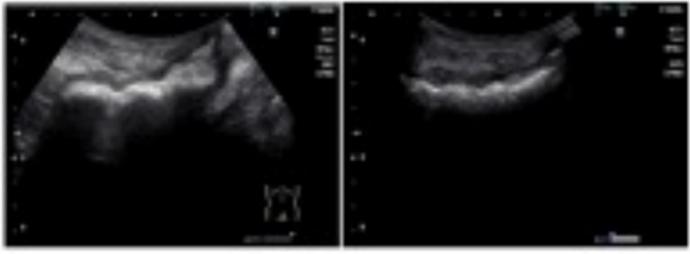
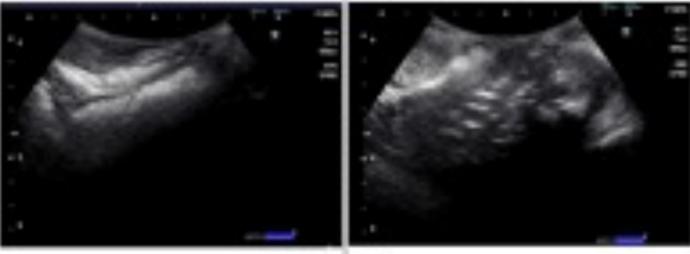
- 直腸下部(貯留便なし)



新便性状分類表

引用元: Healthcare 2024.12

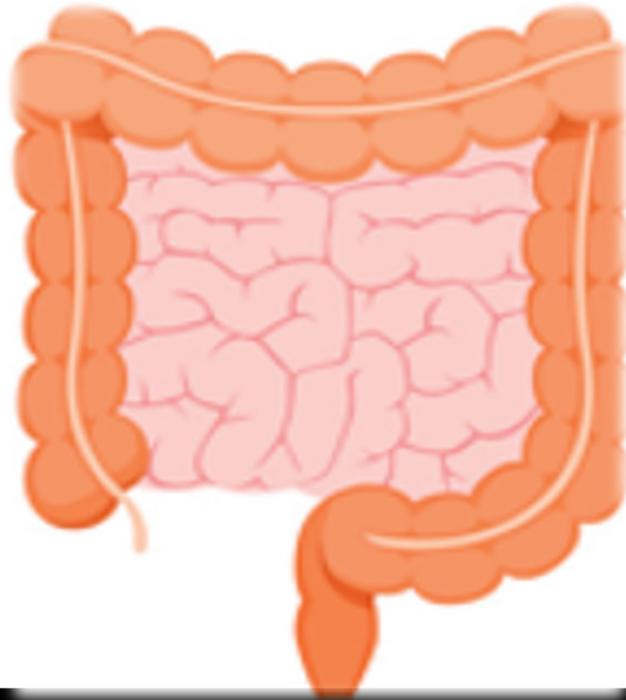
Evaluating Accuracy of Rectal Fecal Assessment Using Transgluteal Cleft Approach Ultrasonography
Yumi Sano

	Group1 (Rock)	Group2 (Cotton)	Group3 (Mousse)	Group4 (No stool)	
Visualization of the rectal front wall		Front wall cannot be visualized (with acoustic shadow)		 Front wall can be visualized	
High echoic area Position Edge Shape	 Near the back wall Bow shape Like a rock	 Near the back wall Imperfections Like cotton	 Generally Scattered in a line (Charging type)	 Near the back wall Flat Like a mousse	 A line in the lumen
Ultrasound image					
Bristol Stool Form Scale (BS)	 BS1  BS2	 BS3  BS4  BS5	 BS6  BS7	No stool retention	

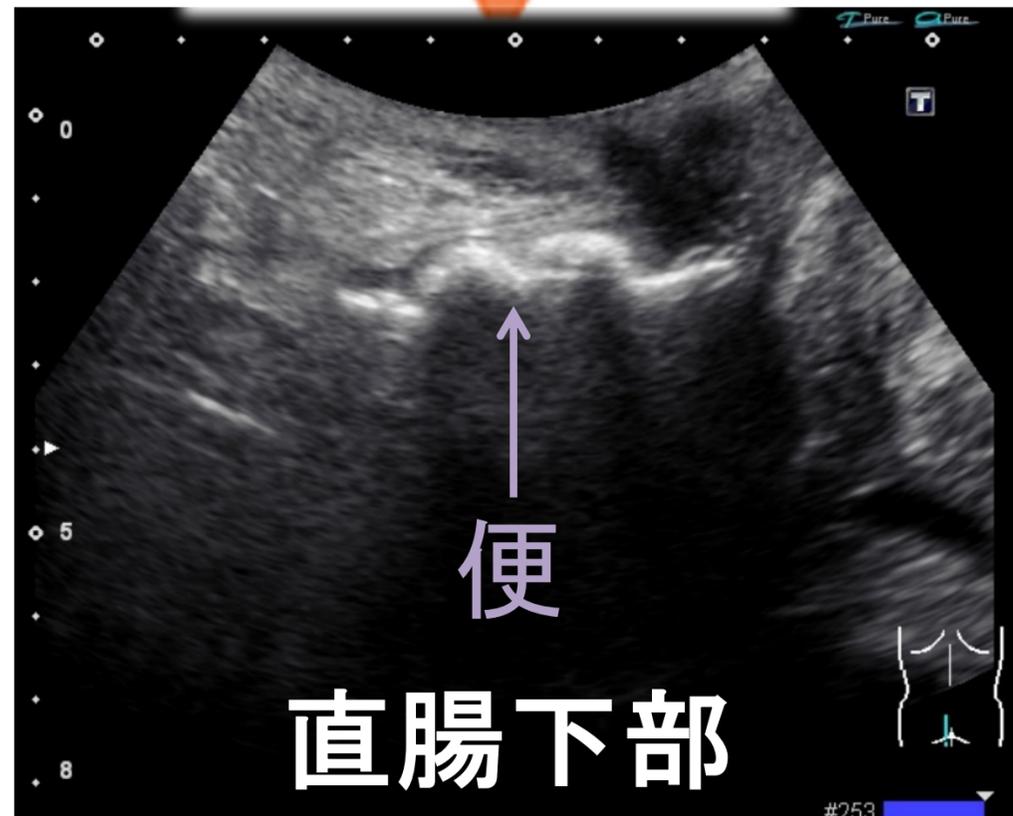
本日の内容

- ① 経腹アプローチ法と
経臀裂アプローチ法について
- ② エコー画像の特徴的所見による
結果の活用方法

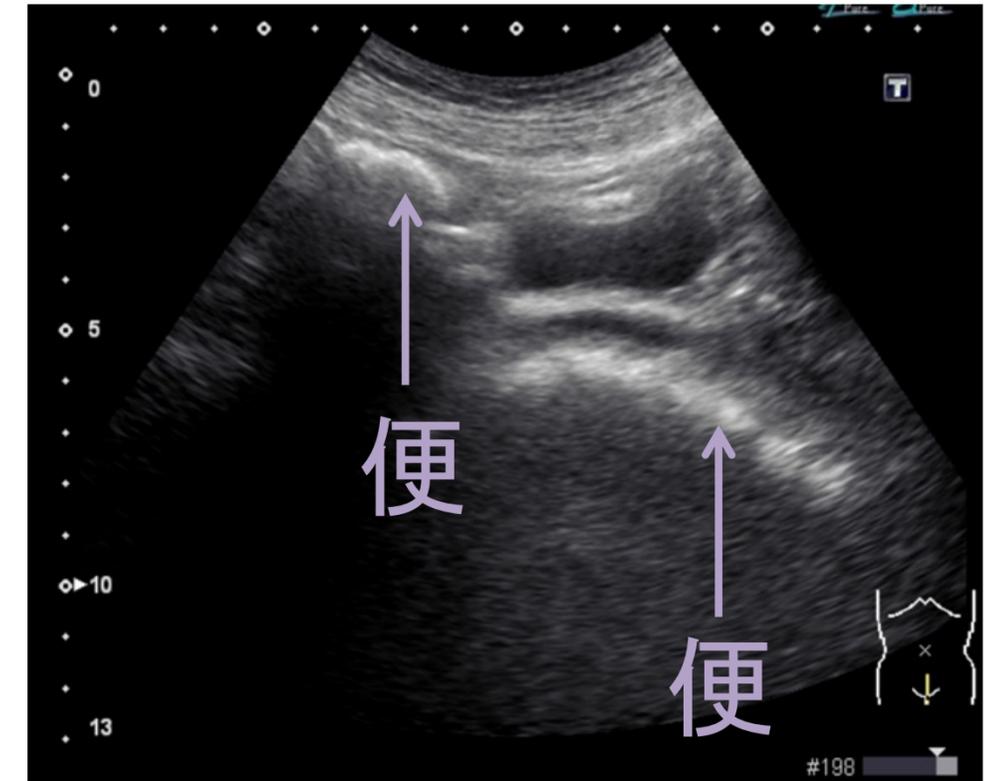
便貯留の可能性 -排便困難型-



下行結腸

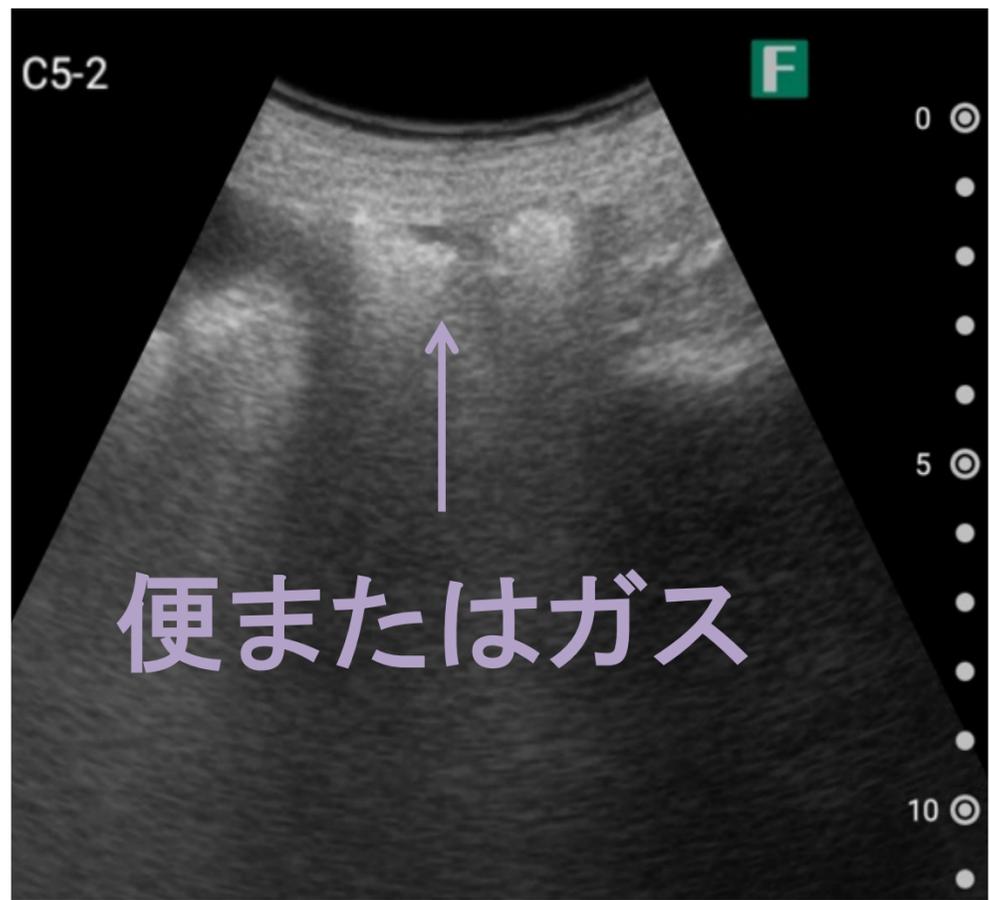
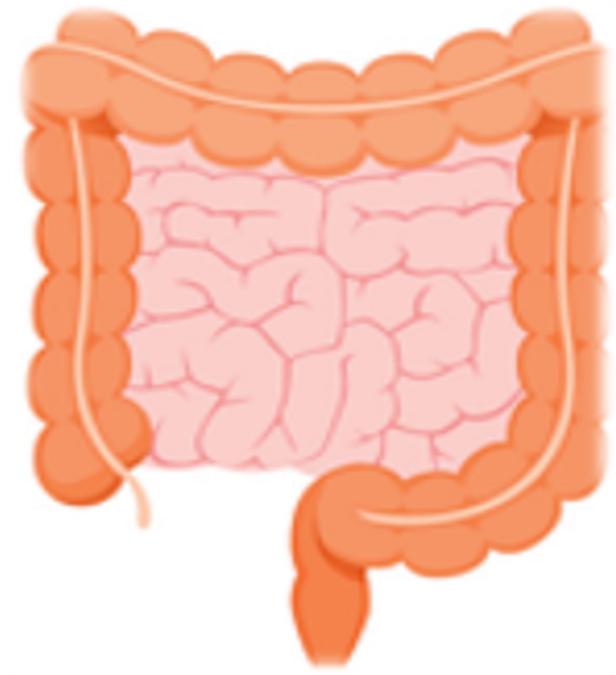


直腸下部

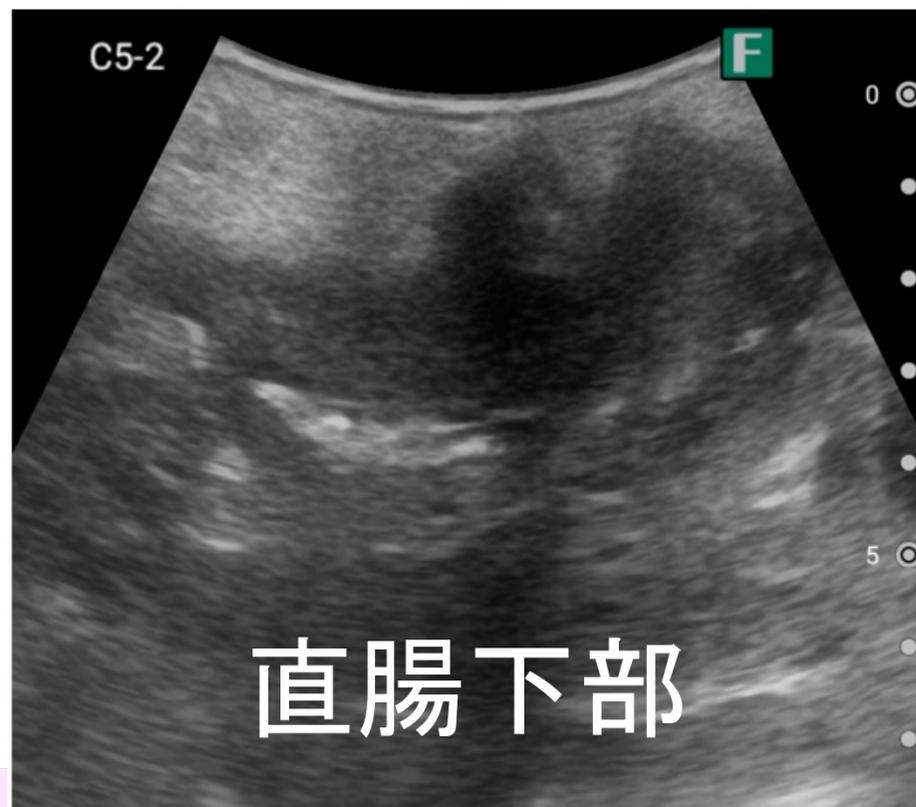


S状結腸～直腸上部

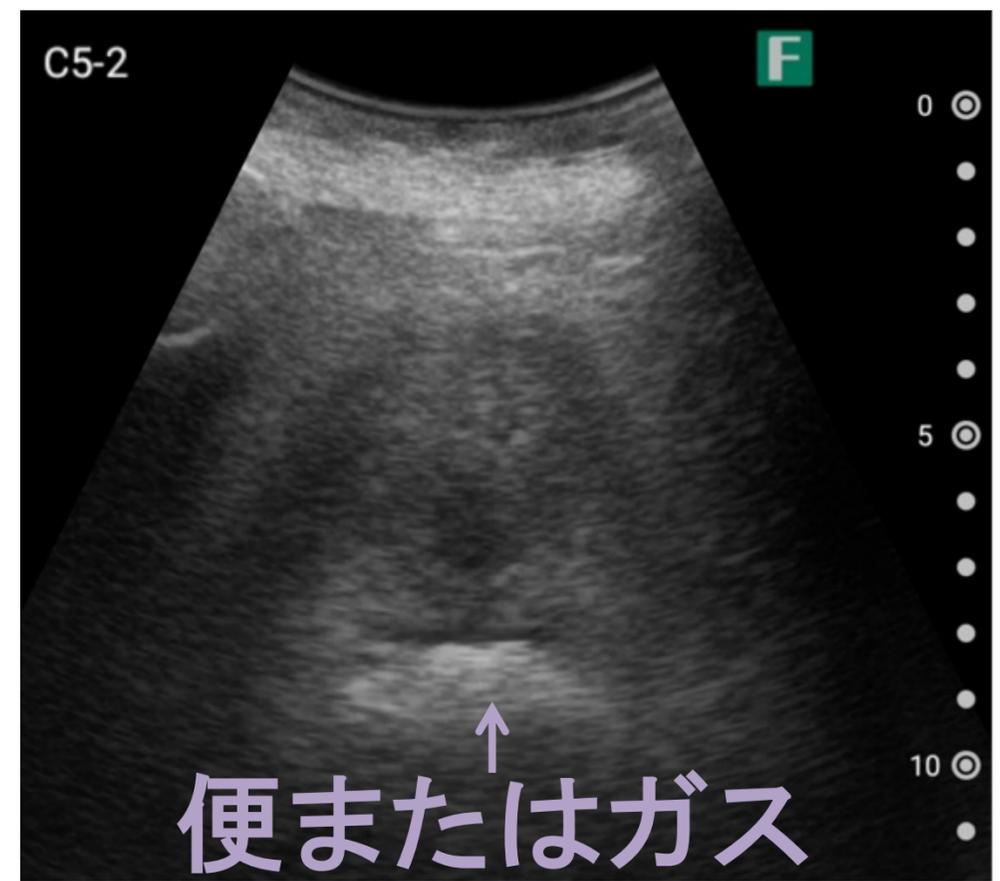
便貯留の可能性 -排便回数減少型-



下行結腸

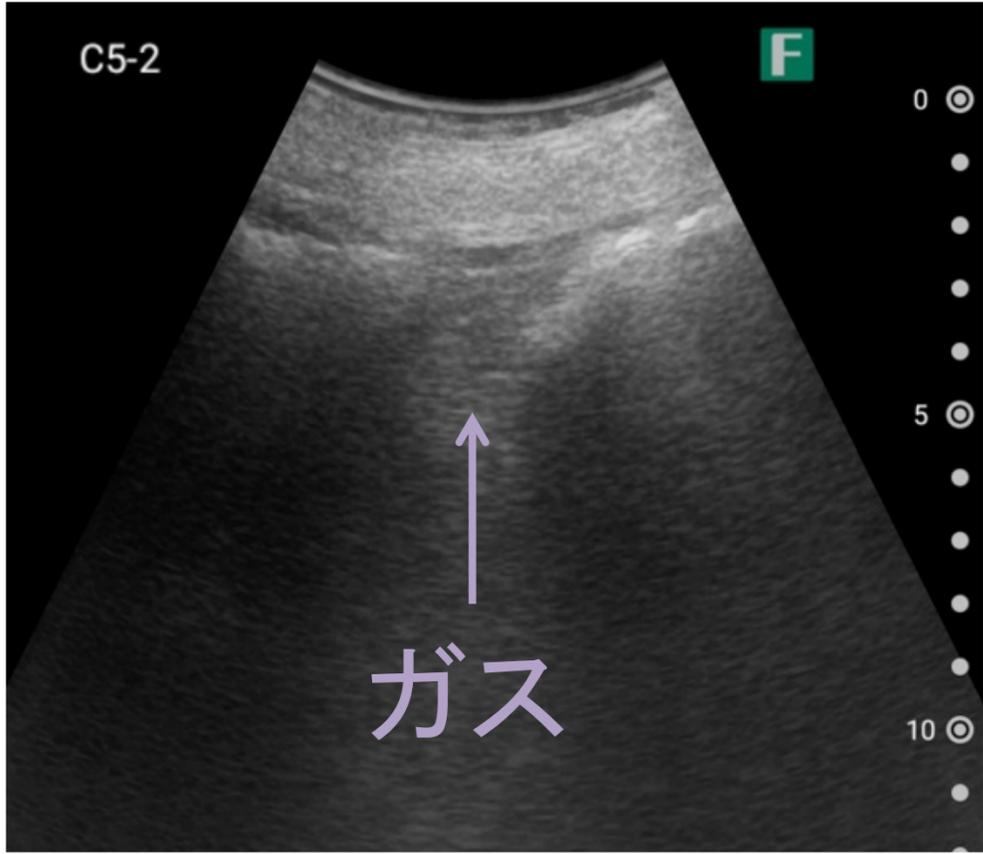
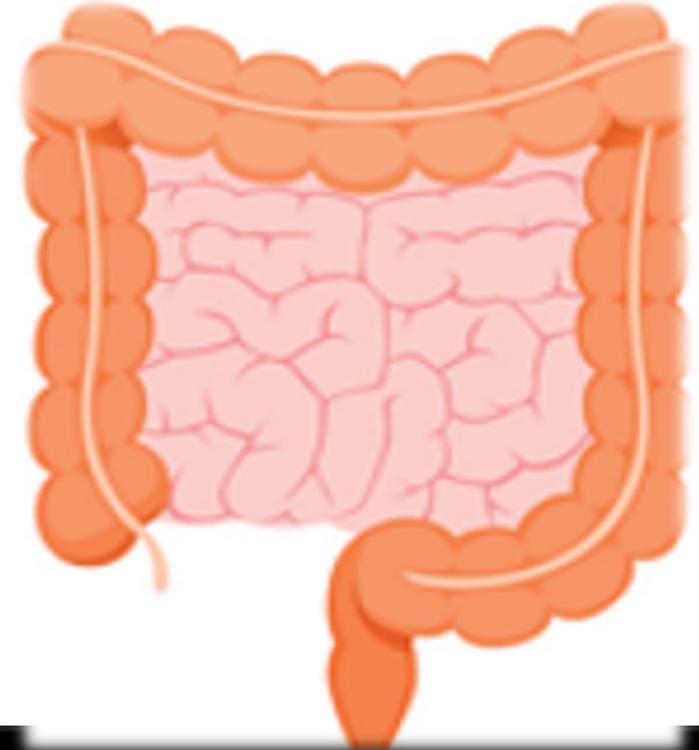


直腸下部



直腸上部

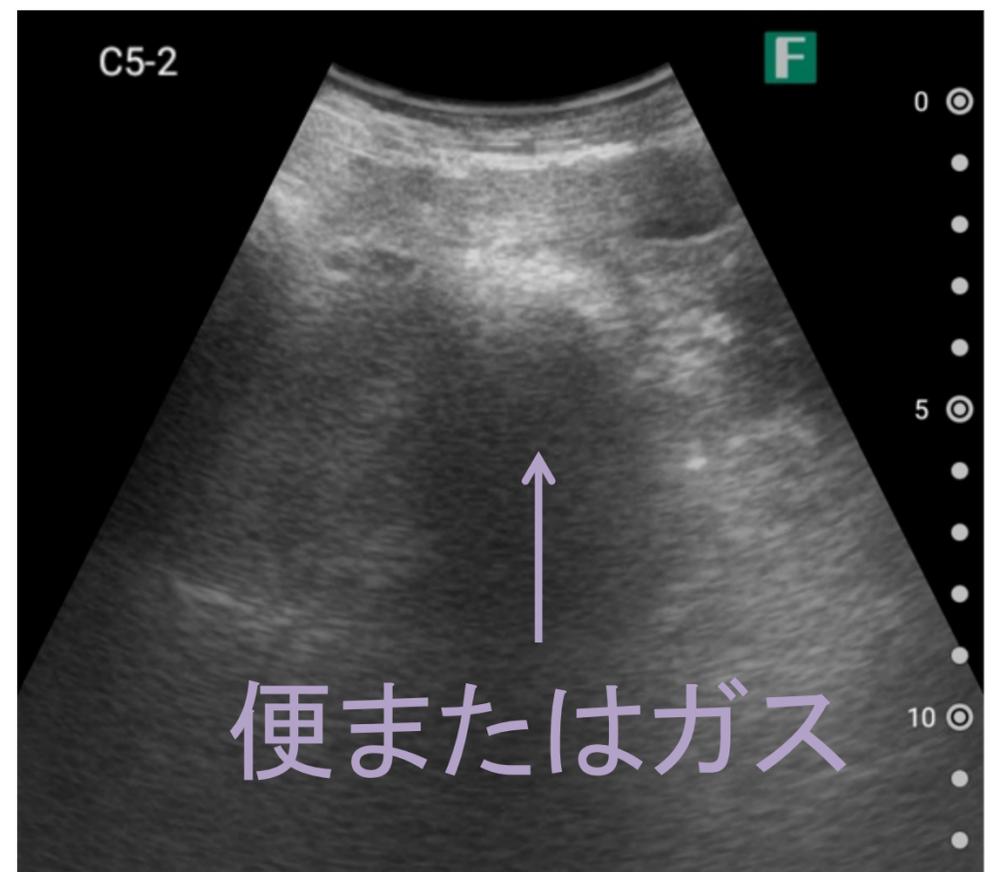
ガスの充満した腸管



下行結腸



便またはガス
直腸下部



直腸上部

まとめ

経腹アプローチ走査法 ; 大腸の貯留便の位置

経臀裂アプローチ走査法 ; 直腸下部の貯留便の性状
を可視化



慢性便秘症の症状分類



ケアの選択や薬剤の選択
患者様の状態に合わせた柔軟な対応

